

外国語活動学習指導案

単元名 alphabet アルファベットで文字遊びをしよう  
(4/5)

日時 平成29年10月18日(水) 2校時  
指導者 T1 原 博子  
T2 村尾亮子

(1) 本単元の構想

単元の目標

- ・身の回りにはアルファベットの文字であらわされているものがたくさんあることに気付くとともに、アルファベットを識別し、文字の読み方に慣れ親しむ。 【知識・技能】
- ・アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 【思考・判断・表現】
- ・相手に配慮しながらアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 学習の基盤

【単元観】

本単元は、アルファベット(大文字・小文字)の形やその読み方に慣れ親しみ、自分で工夫しながら表現することをねらいとしている。そのために、アルファベットをコマにしたABCすごろくに、イニシャルをヒントにした「友達だあれコーナー」を設け、すごろくを楽しみながら尋ねたり答えたりすることを単元のゴールの活動とする。

児童はアルファベットの読み方と国語科で学習したローマ字との違いに気付くと思われる。大文字と小文字のマッチングをすることで大文字・小文字の形に慣れ親しむ場とする。またすごろくのマスにアルファベットや友達のイニシャルを用い、繰り返し聞いたり読んだりすることでどの文字であるかわかるようになることを考える。相手に配慮しながら尋ねたり答えたりする場を設定することで、積極的に友達と英語で関わろうとする児童の育成を図りたい。

【児童観】

… <個人情報保護のために省略> …

【指導観】

指導に当たっては、児童が見通しをもって学習に取り組めるように、学習のおおまかな流れを同じにしたり(学習展開スタイルのパターン化)学習の流れを掲示(見える化)したりしていく。Warm-upでは、毎時間ラッキーフリートキング(LFT)を行い、色や形・数などの既習学習を用いたやりとりを繰り返すことで、児童が楽しみながら英語の力をつけていけるようにする。また、活動の前には必ず指導者のDemonstrationを行い、児童が自分の目指す姿をイメージして活動に取り組めるようにする。

本単元では、第1時に、身の回りのものから小文字を見つけたり、大文字と小文字をつなげたりしながら、小文字のアルファベットでの読み方を知る。第2時では、abcクイズで尋ねたり伝えたりする楽しさを感じるとともに、ローマ字との読み方の違いを意識して伝えることの大切さに気づかせる。第3時には、前時に作ったabcクイズのカードをコマにしてABCすごろくを作り、ABCクイズのように尋ねたり伝えたりしてすごろくを楽しむ。第4時(本時)は、ABCすごろくに友達だあれコーナーを作る。友達の写真にヒントのイニシャルを入れるため、大文字を集める。自分が欲しい大文字を読み方に気をつけて伝えられるように、歌やクイズでアルファベットを発音する時間を持つ。また、相手に伝わるようにするためにはどうしたらよいかを工夫させたい。第5時では、田井小学校の友達との交流活動を行う。それぞれの学校が作成したABCすごろくを合わせ、活字体やその読み方に気をつけてやりとりをし、友達を紹介しながらすごろくを楽しむ。

単元全体を通し、abcクイズやABCすごろくなどの文字遊びを友達と一緒にしながら、英語で伝え合うことの楽しさを味わえる雰囲気を作りたい。読み方だけでなく、声の大きさや速さ、ジェスチャーなどの工夫も認めていく。その工夫は全体で取り上げるようにし、今後の外国語学習での活動に主体的に取り組もうとする態度につなげていくようにする。

(3) 表現・語彙

表現	Look. What's this? It's (A). Hint please. How many letters? I have (six). Do you have (a)? Yes, I do/ No, I don't. (Banana)? That's right. Sorry. Try again.
主な語彙	look, letter, A~Z, a~z, try again, one, two, three, four, five, six

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気づくとともに、アルファベットを識別し、文字の読み方に慣れ親しんでいる。	アルファベットの形や読み方を理解し、文字クイズを出したり答えたりしている。	相手に伝わるように工夫しながら、アルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとしている。

(5) 指導と評価の展開計画 (全5時間 本時4/5)

ア：知識・技能

イ：思考・判断・表現

ウ：主体的に学習に取り組む態度

時	○ねらい ・主な学習活動	評価					
		ア	イ	ウ	主な評価規準 (評価方法)		
					評価規準	評価方法	
1	○身の回りにはたくさんのアルファベットがあることや、ローマ字とアルファベットの読み方の違いに気付く。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌“abcソング”(小文字バージョン) ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・ABC すごろく(大文字) アクティビティ ・身の回りのアルファベット見つけ ・ABC みつけ(大文字、小文字) ・小文字ビンゴ ・マッチングゲーム(大文字、小文字) 振り返り ・振り返りカード		○		○	・身の回りにはたくさんのアルファベットがあることに気付いている。 ・ローマ字とアルファベットの読み方の違いに気付いている。	行動観察 発言 振り返りカード
2	○アルファベット(小文字)の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりする。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌“abcソング” ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・abcクイズ(小文字) アクティビティ ・小文字ビンゴ ・abcクイズ(小文字) 振り返り ・振り返りカード				○	・アルファベット(小文字)の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりしている。	行動観察 発言 振り返りカード
3	○アルファベット(小文字)の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりする。 ウォームアップ ・あいさつ ・歌“abcソング” ・ラッキーフリートーキング デモンストレーション ・ABC すごろく(小文字)					・アルファベット(小文字)の形や読み方に気をつけて尋ねたり答えたりしている。	行動観察 発表 振り返りカード



